

新造船政策検討会について

1. 会議の趣旨と主な論点

国土交通省成長戦略の海洋分野において、我が国の海洋インフラの国際競争力を向上させるための政策の一環として、「造船力の強化」を図ることとされている。また、昨今の世界経済動向や大型造船市場における日韓中の競合状況などを踏まえ、我が国造船産業を取り巻く国際動向は今後一層厳しさを増していくと予想されるところ、我が国海事産業の中核を成す造船産業の国際競争力を維持強化するための新たな政策のあり方について検討を行う。

目下の市場環境並びに長期的な経済のグローバル化及び海上輸送の拡大からして、①短期的対策として、2013～2015年に予想される極端な需要の低迷への対応、②中期的対策として、2015年以降の需要回復期における国際競争力の確保、という時期的に異なる2つの課題を念頭に、これら課題への具体的方策について議論し、具体的取り組みの方向性を取り纏めることとする。

2. 今後の進め方

年度内に5回程度の会議を開催し、大枠の方向性及びその遂行に必要な施策のあり方について中間報告を取り纏める。さらに、4～6月には、財政的・制度的支援策を念頭に、これを具体化した報告書を取り纏める。

12月 7日	第1回	総論、概要説明
1月20日	第2回	委員意見発表
2月14日	第3回	委員意見発表
3月	第4回	論点整理、議論
	第5回	中間報告書とりまとめ
4～5月	第6回	具体的施策の実現・制度化に向けた検討
6月	第7回	最終報告書とりまとめ